



出水期への備え ～風水害・土砂災害に備えましょう～

台風や大雨によって引き起こされる風水害や土砂災害は、人命や財産などに大きな被害をもたらします。「自分の命は自らが守る」意識を持ち、平時から自宅の災害リスクを宇和島市総合防災マップや防災アプリ（伊達なうわじまホッとナビ [防災モード]）などで確認し、「とるべき行動」を決めておきましょう。

警戒レベル4 避難指示で必ず避難



警戒レベル		避難情報等	住民がとるべき行動	情報発信元
警戒 レベル	5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	宇和島市が発令
〜〜〜〈警戒レベル4までに必ず避難！〉〜〜〜				
警戒 レベル	4	避難指示	危険な場所から 全員 避難	
警戒 レベル	3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等 避難	気象台が発表
警戒 レベル	2	大雨・洪水・高潮注意報	避難に備え、ハザードマップなどにより、 自らの避難行動を確認	
警戒 レベル	1	早期注意情報 (警報級の可能性)	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、 災害への心構えを高める	

防災気象情報(警戒レベル相当情報)			
	洪水等	土砂災害	高潮
5 相当	大雨特別警報(浸水害) 氾濫発生情報 危険度分布:黒(災害切迫)	大雨特別警報 (土砂災害) 危険度分布:黒(災害切迫)	――
4 相当	氾濫危険情報 危険度分布:紫(危険)	土砂災害警戒情報 危険度分布:紫(危険)	高潮特別警報 高潮警報
3 相当	洪水警報 氾濫警戒情報 危険度分布:赤(警戒)	大雨警報 (土砂災害) 危険度分布:赤(警戒)	高潮警報に切り替える可能性に言及する 高潮注意報
2 相当	氾濫注意情報 危険度分布:黄(注意)	危険度分布:黄(注意)	――
1 相当	――	――	――

とるべき避難行動

立退き避難

非常持出品をチェックリストで確認しておきましょう

①市が指定した避難場所・避難所へ

自ら携行するもの
・マスク(感染症対策)
・非常持出袋 等

②安全な親戚・知人宅へ

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※総合防災マップや防災アプリで安全かどうかを確認しましょう。

③安全なホテル・旅館へ

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

要配慮避難者等宿泊施設利用補助金を活用しましょう。

●要配慮避難者等宿泊施設利用補助金

避難情報が発令された際に、特に配慮が必要な避難者等がホテル・旅館等を避難先(福祉避難所)として活用するための経費を補助します。



補助率・上限額

- ▶宿泊費1名1泊(食事付)の4/5以内、上限5,600円/泊
- ▶移動経費の4/5以内、上限1,500円/1箇所の片道当たり

交付対象者

避難対象区域の土砂災害警戒区域などに居住かつ次のいずれかに該当(移動経費:②・⑧は対象外)

- ①要介護度3～5の要介護認定者
- ②75歳以上の方
- ③身体障害者手帳所持者(1、2級)
- ④療育手帳所持者(A)
- ⑤精神障害者保健福祉手帳所持者(1級)
- ⑥重度心身障害者医療費受給対象者
- ⑦妊産婦、乳幼児(1歳未満)
- ⑧要配慮者避難者の付添い者(要配慮避難者1人に対して1人)

非常持ち出し品チェックリスト

夜間・寒さ対策も忘れずに

防災アプリで管理できます

貴重品	生活用品	救急用具	衣料品
現金	厚手の手袋(軍手)	救急箱(絆創膏・消毒液、その他)	下着・靴下
預貯金通帳(コピー)	毛布(簡易ブランケット)	処方箋の控え(お薬手帳)	長袖・長ズボン
印鑑	缶切り・ナイフ	薬	防寒着
保険証(コピー)	ライター・マッチ・ろうそく	水・食料(3日分)	雨具(レインコート)
運転免許証(コピー)	タオル	飲料水 約1人1日ペットボトル500ml 3本以上	衛生用品
避難用具	携帯用トイレ		マスク
避難者カード	歯ブラシセット		アルコール消毒液・除菌シート
ランタン・ヘッドライト	水筒・ほ乳瓶		体温計
防災ラジオ(携帯ラジオ)	携帯用カイロ	ごはん(アルファ米)、レトルト食品、乾パン、缶詰、栄養補助食品、あめ・チョコレート、野菜ジュースなど ※そのまま食べられるもの	生理用品
ヘルメット・防災ずきん	スリッパ		紙おむつ
充電器・モバイルバッテリー・予備の乾電池	ティッシュ・ウェットティッシュ		おしりふき

家庭備蓄品チェックリスト

水(飲料水・生活用水)	日持ちする野菜類	お菓子(チョコやビスケットなど)
お米	カップ麺	レトルト食品
缶詰	パックごはん	カセットコンロ
乾麺	調味料	簡易トイレ

家庭備蓄として、食料や飲料水などは最低7日分、うち3日分は非常持ち出しとして用意しましょう

屋内安全確保

以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

- ▶家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ▶浸水深より居室は高い
- ▶水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

※土砂災害のおそれがある区域では立退き避難が原則です。

※家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水継続時間は、市HPで確認できます。

※豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

マイ・タイムラインを作しましょう

自分や家族がどのタイミングで何をするかをあらかじめ決めておけば、いざというときあわてずに行動することができます。

一人一人がどのように行動するかを時間の経過にそって整理した防災行動計画(マイ・タイムライン)を作成しましょう。



お問い合わせ

- 危機管理課
TEL: 0895-49-7083

壁などに貼り、いつでも確認できるよう保存してください。